

Smart Data Platform(SDPF) 仕様変更に関する事前のご案内

2021年8月24日
NTTコミュニケーションズ

SDPF仕様変更詳細およびお客さまへのお願い事項（1/2）

SDPFの仕様変更に伴い、お手数ですが下表の「お客さまへのお願い事項」に記載する内容についてご対応をお願いいたします。

※対象メニュー＝SDPFクラウド/サーバー(旧Enterprise Cloud2.0)、Flexible InterConnect、Distributed Secure Internet Gateway、Super OCN Flexible Connect、IoT Connect Mobile Type S、API Gateway as a Service X

サービス仕様変更	変更前の仕様概要	変更後の仕様概要	お客さまへのお願い事項	仕様変更適用日
1.Web明細の変更について	2021年5月25日にご案内した「Smart Data Platform」のメニュー体系刷新 ^{※1} に合わせた利用明細表示へ変更します。 ※1 「Smart Data Platform」のメニュー体系刷新に伴う変更点について		－	－
1-1.サマリ明細・詳細明細の導入	<ul style="list-style-type: none"> SDPFの新メニューへ未対応 SDPFポータルで画面で階層構造表示している明細とCSVファイルは同じものを提供 	<ul style="list-style-type: none"> SDPFの新メニュー表に対応 サマリ明細と詳細明細の2つを提供 <ul style="list-style-type: none"> サマリ明細：GUI表示用にワークスペース単位でまとめたシンプルな明細 詳細明細：メニュー単位の詳細な明細 	既存明細も1年間並行してご提供いたしますが、新明細と料金計算を合わせるため、 既存明細の一部も変更 になりますので、 影響範囲の確認と対応 をお願いいたします。	2021年11月10日
1-2.各種BillingAPIv2の提供開始	－	新明細に合わせたBillingAPIを提供		2021年11月10日
1-3.料金計算の整数化タイミングの変更	テナント配下の階層3で整数化(切り捨て)	メニュー単位で整数化(切り捨て) ※計算処理の変更による不利益は発生しません		2021年11月10日
1-4.既存明細の変更				2021年11月10日

SDPF仕様変更詳細およびお客さまへのお願い事項（2/2）

SDPFの仕様変更に伴い、お手数ですが下表の「お客さまへのお願い事項」に記載する内容についてご対応をお願いいたします。

※対象メニュー＝SDPFクラウド/サーバー(旧Enterprise Cloud2.0)、Flexible InterConnect、Distributed Secure Internet Gateway、Super OCN Flexible Connect、IoT Connect Mobile Type S、API Gateway as a Service X

サービス仕様変更	変更前の仕様概要	変更後の仕様概要	お客さまへのお願い事項	仕様変更適用日
2.セキュリティ強化について	世界的にサイバー攻撃が多発している昨今の情勢において、プロバイダーとしてお客さま環境を守るためのセキュリティ対策を高めていくことが求められており、SDPFのセキュリティを強化します。		－	－
2-1.API仕様の変更	－	－	－	－
APIデフォルト拒否化	初期設定はAPI利用可	<ul style="list-style-type: none"> ・初期設定はAPI利用不可 ・API利用時はIAM(Identity and Access Management)機能を用いて個別設定 	現在デフォルトグループでAPIをご利用中のお客さまは、利用不可に変更となりますので、11月9日までにIAM機能を用いて利用可への変更をお願いします。	①2021年9月27日 21時以降 (2021年9月27日21時以降の新規契約(パートナー子契約含む)) ②2021年11月10日 (2021年9月27日までのご契約)
API秘密鍵の非表示化	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密鍵はAPI 鍵発行後も参照可能 ・APIレスポンスにより確認可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密鍵はAPI 鍵発行時の一度のみの表示 ・APIレスポンスから確認不可 	－	2021年11月10日
API 鍵更新権限の変更	契約代表ユーザ/親契約による、他ユーザ/子契約のAPI鍵操作が可能	契約代表ユーザ/親契約による、他ユーザ/子契約のAPI鍵操作は不可	－	2021年11月10日
2-2.ログイン履歴のご提供	提供なし	管理機能へのログイン履歴をGUI表示	－	2021年11月10日
2-3.ログイン時の2要素認証機能の推奨（パートナーポータルご利用者様のみ）	2要素認証を選択可能	2要素認証を強く推奨	2要素認証を設定頂く事でセキュリティを向上させることができる為、設定を強くお勧めいたします。子契約へのお客さまへのご案内もあわせて実施いただきますようお願いいたします。	設定可能です

1.Web明細の変更について

1.Web明細の変更について～サマリ明細 / 詳細明細の概要～

- ✓ 2021年5月 にリリースしたSDPFの新メニュー表への対応および、ユーザがより扱いやすいデータ構造に対応したWeb明細に変更いたします。
- ✓ 新明細は**サマリ明細および詳細明細の2種類の明細を提供します。**
- ✓ なお、現在の明細についても一部変更がありますが、並行して提供します（並行期間は約1年）

現在の明細

- ✓ SDPF 新メニューに対応していない。
- ✓ SDPFポータル画面で表示している明細とCSVファイルは同じものを提供。階層構造で表現されたデータで扱いにくい形式。



サマリ明細

- ✓ SDPFポータル画面表示用。APIでも取得可能。
- ✓ ワークスペース単位でまとめられたシンプルな明細。
- ✓ 現在の明細同様に、パートナー親契約においては子契約の利用の合算も表示。

詳細明細

- ✓ 詳細確認用。APIやCSVファイルのダウンロードで取得可能。
- ✓ メニュー3階層に加え、各メニューの詳細やプラン、地域情報等を記載。

1-1.サマリ明細・詳細明細の導入

SDPFポータルでの料金・請求画面で表示。ワークスペース単位の料金を表示。

■現在の明細画面

料金・請求

直近24ヶ月分のご利用料金の明細をご確認いただけます。

2021年4月
2021年3月
2021年2月
2021年1月
2020年12月
2020年11月
2020年10月
2020年9月
2020年8月
2020年7月
2020年6月
2020年5月
2020年4月
2020年3月
2020年2月
2020年1月
2019年12月
2019年11月
2019年10月
2019年9月

2021年3月のご利用明細 (予定)

ご利用期間 | 2021年3月1日~2021年3月31日 [明細CSVダウンロード](#)

項目をすべて開く

項目	内容	利用量	利用金額(JPY)
合計	CustomerNumber:econ000000XXXX [econ000000XXXX]		475,268
テナント	Id:0123456789abcdef, Name>manual-owner-tenant-01, RegionId:iab3ec		15,900
Enterprise Cloud 2.0			15,900
Virtual Server			1,000,000,000
Internet Connectivity			14,900,000,000
Logical Network			0,000,000

階層構造で詳細項目まで表示。

■新明細の画面

料金・請求

直近24ヶ月分のごご利用料金の明細をご確認いただけます。

2021年11月
2021年10月
2021年9月
2021年8月
2021年7月
2021年6月
2021年5月
2021年4月
2021年3月
2021年2月
2021年1月
2020年12月
2020年11月
2020年10月
2020年9月
2020年8月
2020年7月
2020年6月
2020年5月
2020年4月
2020年3月
2020年2月
2020年1月
2019年12月

2021年10月のご利用明細 (確定)

2021年10月以前の明細形式 | 2021年11月以降の明細形式 (サマリ明細)

ご利用期間 | 2021年11月1日~2021年11月9日 [サマリ明細CSVダウンロード](#) [詳細明細CSVダウンロード](#)

項目	説明	利用料 (JPY)
合計	CustomerNumber:econ0000000042 [econ0000000042]	39,241
ワークスペース	Id:ws0000000001, Name:FIC-GUI_dev_1st_Test_0001	0.000000
ワークスペース	Id:ws0000000002, Name:ECL	0.000000
ワークスペース	Id:ws0000000003, Name:fic_test	35,674.12
消費税相当額	税区分: 消費税率: 10%	3,567

合計のみ階層上げ。その他は同一階層で合算すると合計値となる。

ワークスペース内で使用されたリソースは表示せず、サマリを表示。

1-1.サマリ明細・詳細明細の導入～パートナー様向けサマリ明細について～

■新明細の画面：①親契約の請求明細（子契約との合算を表示）

料金(お支払い明細)

直近24ヶ月分のお支払い料金（パートナー様のお支払い料金）の明細をご確認いただけます。

2021年11月 2021年11月のお支払い明細（予定）

2021年10月 2021年10月以前の明細形式 2021年11月以降の明細形式（サマリ明細）

2021年9月
2021年8月
2021年7月
2021年6月
2021年5月
2021年4月
2021年3月
2021年2月
2021年1月

ご利用期間 | 2021年11月1日～2021年11月9日 [サマリ明細CSVダウンロード](#) [詳細明細CSVダウンロード](#)

項目	説明	利用料 (JPY)
合計	CustomerNumber:12000000000001 [econ000000012]	45,217
↳ ワークスペース	Id:ws0000000010, Name:Partner_test_01	10,000.000000
↳ 合計（子契約利用分）	CustomerNumber:econ0000000042 [econ0000000042]	35,674.000000
↳ 特別割引	10%割引	-4,567
↳ 消費税相当額	税区分：合算 消費税率：10%	4,110

2020年12月
2020年11月
2020年10月
2020年9月
2020年8月
2020年7月
2020年6月
2020年5月
2020年4月
2020年3月
2020年2月
2020年1月

2019年12月

◀ 2021年10月

■新明細の画面：②親契約が請求されるうちの子契約利用分の表示

料金(お支払い明細)

直近24ヶ月分のお支払い料金（パートナー様のお支払い料金）の明細をご確認いただけます。

2021年11月 2021年11月のお支払い明細（予定）

2021年10月 2021年10月以前の明細形式 2021年11月以降の明細形式（サマリ明細）

2021年9月
2021年8月
2021年7月
2021年6月
2021年5月
2021年4月
2021年3月
2021年2月
2021年1月

ご利用期間 | 2021年11月1日～2021年11月9日 [サマリ明細CSVダウンロード](#) [詳細明細CSVダウンロード](#)

項目	説明	利用料 (JPY)
合計	CustomerNumber:econ0000000042 [econ0000000042]	39,241
↳ ワークスペース	Id:ws0000000001, Name:FIC-GUI_dev_1st_Test_0001	0.000000
↳ ワークスペース	Id:ws0000000002, Name:ECL	0.000000
↳ ワークスペース	Id:ws0000000003, Name:fic_test	35,674.12
↳ 消費税相当額	税区分：合算 消費税率：10%	3,567

2020年12月
2020年11月
2020年10月
2020年9月
2020年8月
2020年7月
2020年6月
2020年5月
2020年4月
2020年3月
2020年2月
2020年1月

2019年12月

◀ 2021年10月

※画面イメージについては開発中のため、変更する可能性があります。

1-1.サマリ明細・詳細明細の導入～詳細明細について～

(一般のお客さま／パートナー様共通) 詳細明細

- ✓ サンプルファイルは、別紙「SDPF料金明細サンプルファイル.xlsx」を参照ください。
- ✓ CSVファイルは、SDPFポータルからのダウンロードまたはAPIで取得できます。
- ✓ 各メニューのプランや地域情報などの詳細情報を記載しています。

項目	内容
料金区分	行を種類を示すフィールド。 メニューの利用料や調整金,税金など。
保有econ番号	メニューを保有するeconのID パートナーの場合、子契約econが記載される場合もある。
保有EX_ref_ID	メニューを保有するex_refのID (例: 12XXX) パートナーの場合、パートナー管理の子契約管理番号となる場合もある
workspace_id	メニューを保有するワークスペースのID
workspace_name	メニューを保有するワークスペースの名前
tenant_id	メニューを保有するワークスペース内のテナントのID
item_id	課金対象計算単位のID
カテゴリ	メニュー表の階層1
サブカテゴリ	メニュー表の階層2
メニュー	メニュー表の階層3
メニュー詳細	メニュー個別の内容 より粒度の細かいメニューについて記載

項目	内容
プラン	メニューを提供するプラン(1CPU-2GBなど)
地域属性	メニューが所属する地域情報(jpなど)
説明	メニューや特別調整金などの説明
ChargeObjectID	課金計算されるリソースのID
利用量	メニューを利用した量 メニューによって、金額そのものであったり、secであったり。
単位	利用量の単位
金額	行ごとの金額
通貨	行ごとの金額の通貨
税区分	行の税区分。合算か内税か
請求月	課金対象月
請求状況	請求のステータス。料金が確定している場合は 'fixed', 推定の料金となる場合は'estimated'となる。

※ファイル内の文言は開発中のため、変更する可能性があります。

1-2.各種BillingAPIv2の提供開始

新明細形式の提供に合わせ、SSS Billing APIv2に下記のAPIを追加します。

新規追加 v2 API

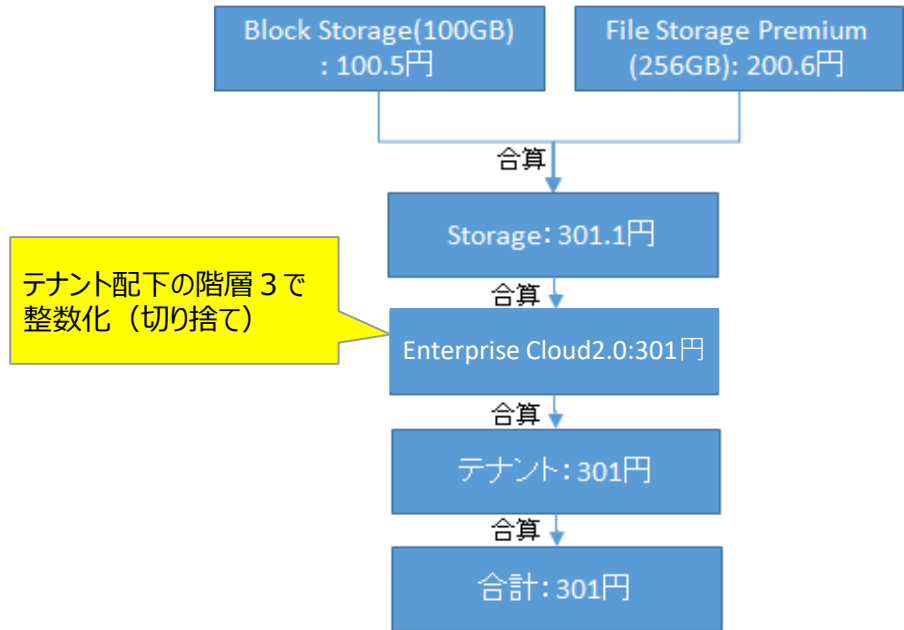
- ✓ サマリ明細取得
- ✓ サマリ明細取得 - パートナーさま向け
- ✓ 詳細明細取得
- ✓ 詳細明細取得 - パートナーさま向け
- ✓ サマリ明細ファイル作成
- ✓ サマリ明細ファイル作成 - ホールセール向け
- ✓ 詳細明細ファイル作成
- ✓ 詳細明細ファイル作成 - ホールセール向け
- ✓ サマリ明細・詳細明細ファイル取得

1-3.料金計算の整数化タイミングの変更

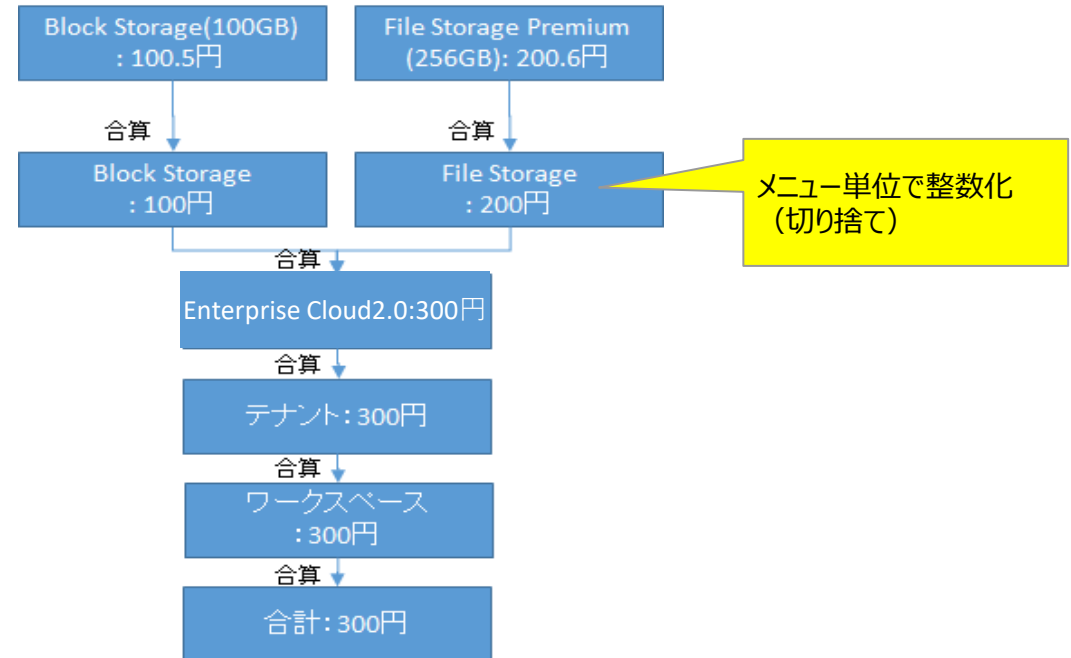
SDPF新メニュー体系に応じた課金計算の見直しに伴い、料金計算を一部変更します。

- ✓ 2021年5月に実施したSDPFメニュー変更に伴い、メニュー単位での整数化に変更いたします。端数処理の影響を受け、新計算方式の方が若干安価になります。
- ✓ (新明細との料金差をなくすために)既存明細側でも同じ計算方式を適用する必要があるため、既存明細の表現を一部を変更します (次ページ)

【現計算方式】



【新計算方式(StorageがBlockStorageとFileStorageに分離等)】



1-4.既存明細の変更

既存明細の変更点は下記です。

- 変更点 1) 階層 3 の配下のメニュー構成を新メニュー構成に変更
- 変更点 2) テナント内のメニュー単位で、整数化を実施する

【既存明細(現在)】

項目	内容	利用量	料金
合計			301
テナント			301
Enterprise Cloud 2.0			301
Storage			301.1
Block Storage (100GB)			100.5
File Storage Premium (256GB)			200.6



【既存明細 (2021年11月10日以降)】

項目	内容	利用量	料金
合計			300
テナント			300
Enterprise Cloud 2.0			300
Block Storage			100
Block Storage (100GB)			100.5
File Storage			200
File Storage Premium (256GB)			200.6

1-4.既存明細の変更

■現在の明細画面

ダッシュボード > 料金・請求

料金・請求

直近24ヶ月分のご利用料金の明細をご確認いただけます。

2021年4月 2021年3月 2021年2月 2021年1月 2020年12月 2020年11月 2020年10月 2020年9月 2020年8月 2020年7月 2020年6月 2020年5月 2020年4月 2020年3月 2020年2月 2020年1月 2019年12月 2019年11月 2019年10月 2019年9月

2021年3月のご利用明細 (予定)

ご利用期間 | 2021年3月1日～2021年3月31日 [明細CSVダウンロード](#)

項目をすべて開く

項目	内容	利用量	利用金額 (JPY)
合計	CustomerNumber:econ000000XXXX [econ000000XXXX]		475,268
テナント	Id:0123456789abcdef, Name>manual-owner-tenant-01, RegionId:lab3ec		15,900
Enterprise Cloud 2.0			15,900
Virtual Server			1,000,000000
Internet Connectivity			14,900,000000
Logical Network			0,000000



■既存明細 (2021年11月10日以降) の画面

料金・請求 [明細一括ダウンロード](#)

直近24ヶ月分のご利用料金の明細をご確認いただけます。

2021年11月 2021年10月 2021年9月 2021年8月 2021年7月 2021年6月 2021年5月 2021年4月 2021年3月 2021年2月 2021年1月 2020年12月 2020年11月 2020年10月 2020年9月 2020年8月 2020年7月 2020年6月 2020年5月 2020年4月 2020年3月 2020年2月 2020年1月 2019年12月

2021年10月のご利用明細 (確定)

2021年10月以前 **2021年10月** 2021年11月以降

2021年10月以前の詳細形式 | **2021年11月以降の詳細形式 (サマリ明細)**

ご利用期間 | 2021年10月1日～2021年10月31日 [明細CSVダウンロード](#)

項目をすべて開く

項目	内容	利用量	利用金額 (JPY)
合計	CustomerNumber:econ0000000042 [econ0000000042]		2,100,920
テナント	Id:d6ba1b1078164559a3c367c8f5461388, Name:FIC-GUI_dev_1st_Test_0001, RegionId:gl1		0
テナント	Id:20c33449388f4071bf629b15fd9237bd, Name:ECL, RegionId:jp7		0
Enterprise Cloud 2.0			0
テナント	Id:5cae2526b4db4fe5b68640f97ff2ff45, Name:fic_test, RegionId:gl1		35,674
Flexible InterConnect			35,674
消費税相当額	税区分: 合算 消費税率: 10%		190,992

< 2021年9月 | 2021年11月 >

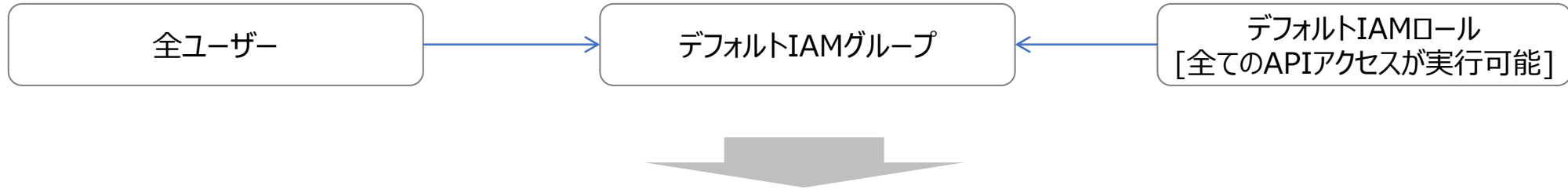
※画面イメージについては開発中のため、変更する可能性があります。

2.セキュリティ強化について

セキュリティ強化 ～APIデフォルト拒否化～

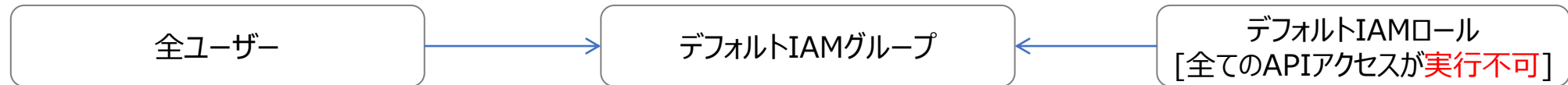
■ サービス仕様の変更前

- ✓ 契約の作成時点では、デフォルトIAMグループとデフォルトIAMロールがシステムにより作成されており、作成直後の全てのユーザーはデフォルトIAMグループに紐付け
- ✓ デフォルトIAMロールは全てのAPIアクセスに実行可能と定義されており、デフォルトIAMグループに紐づけられているため、初期設定では全てのユーザーはそのユーザー種別の中で実行可能な全てのAPIアクセスの実行権限有



■ サービス仕様の変更後

- ✓ 契約の作成時点では、デフォルトIAMグループとデフォルトIAMロールがシステムにより作成されており、作成直後の全てのユーザーはデフォルトIAMグループに紐付け (変更なし)
- ✓ デフォルトIAMロールは全てのAPIアクセスに**実行不可**と定義され、デフォルトIAMグループに紐づけられているため、初期設定では全てのユーザーは全てのAPIアクセスが**実行不可**(変更あり)



- ✓ **本サービス仕様の変更は、APIアクセスのみ影響するため、APIをご利用されないお客様は対処不要となります。**
- ✓ **APIをご利用されるお客様は11/9までにIAMロール及びIAMグループの設定が必要となります。**

(詳細設定方法については[API設定変更手順 \(IAM設定詳細\)](#) 参照)

<参考>

- ✓ サービス仕様の変更はポータル経由での操作に影響はございません
- ✓ サービス仕様の変更後、SDPFクラウド/サーバーやFlexible InterConnectをコマンドラインから操作するEnterprise Cloud CLI/CLI for Flexible InterConnectの利用不可

2-1.API仕様の変更～APIデフォルト拒否化(お客さま設定概要)～

デフォルトIAMグループ、デフォルトIAMロールのサービス仕様変更については、APIアクセスにのみ影響するため、**APIをご利用されないお客さまは対処不要となります。**

継続してAPIをご利用されるお客さまは下記の対応が必要となりますのでご確認ください。

■お客さまへのお願い事項 (API経由で操作を行うユーザーの種類によって対処方法が分かれます) ※ユーザーの種類についてはユーザープロフィール画面をご参照ください

パターン1：管理ユーザー/一般ユーザーの場合

パターン2：契約代表ユーザーの場合

<パターン1：管理ユーザー/一般ユーザーの場合>

API実行を許可する条件 (IPアドレスやAPI種別) を記載したIAMロール、API実行用に作成したIAMグループをそれぞれ作成し紐付けを行ってください。
続けて、APIを実行する予定のユーザー(管理ユーザー/一般ユーザー) をAPI実行用IAMグループに紐づけ、デフォルトIAMグループから外すことでAPI実行が可能です。

<パターン2：契約代表ユーザーの場合>

契約代表ユーザーはデフォルトIAMグループ以外と紐づける事ができないため、新たに管理ユーザを作成する必要があります。
契約代表ユーザーにて実行していたAPIは、新規に作成した管理ユーザーでIAM設定を行いAPIの実行が可能となります。

[制約事項]

許可機能及び契約代表ユーザー変更機能は契約代表ユーザーのみが実行可能なため、ポータル経由でのみ実行可能

【参考】メニューごとのAPI仕様変更の影響

2021年8月24日時点

カテゴリー	サブカテゴリー	メニュー	対象可否
データ利活用	加工	データ統合 Next Generation iPaaS Powered by Informatica	非対象
		データ匿名化 tasokarena	非対象
	可視化	BI/BAツール TIBCO Spotfire®	非対象
		ゼロクリックBI HyperIntelligence	非対象
	分析	機械学習モデル生成自動化 DataRobot	非対象
		データマイニング Visual Mining Studio	非対象
		画像認識 Deeptector	非対象
	データマネジメント	データマネジメントプラットフォーム iQuattro	非対象
		デジタルワーカープラットフォーム Blue Prism Cloud	非対象
		データ利活用基盤	非対象
API連携基盤	API Gateway as a Service X	対象	
クラウド/サーバー	ハイパーバイザー	vSphere	対象
		Hyper-V	対象
		VMware Cloud Foundation	対象
	仮想サーバー	サーバーインスタンス	対象
		イメージ管理	対象
	物理サーバー	ヘアメタルサーバー	対象
		GPUサーバー	非対象
	コンテナ管理	Red Hat OpenShift Platform	対象
	ストレージ	ブロックストレージ	対象
		ファイルストレージ	対象
		Wasabiオブジェクトストレージ	対象
	セキュリティ	Managed Anti-Virus	対象
		Managed Virtual Patch	対象
		Managed Host-based Security Package	対象
	ミドルウェア/ライセンス	Oracle	対象
		SQL Server	対象
		Arcserve Unified Data Protection	対象
		HULFT	対象
		Windows Server Remote Desktop Services SAL	対象
		SAP HANA	対象
プラットフォームサービス	Enterprise Cloud for ERP	非対象	
	IaaS Powered by VMware	対象	
パートナークラウド	Power Systems	対象	
	Hybrid Cloud with Microsoft Azure	対象	
	Hybrid Cloud with GCP	対象	
	バックアップ	Arcserve UDP Cloud Direct	非対象
構築/開発ツール	バックアップ ローカル/ダブル保管	対象	
	Deployment Manager	対象	
	WebRTC Platform SkyWay	対象	

カテゴリー	サブカテゴリー	メニュー	対象可否
ネットワーク	相互接続/関連サービス	Flexible InterConnect	対象
		Global Flexible InterConnect	非対象
		クラウド/サーバー VPN接続ゲートウェイ	対象
		クラウド/サーバー インターネット接続ゲートウェイ	対象
		クラウド/サーバー Flexible InterConnect接続ゲートウェイ	対象
		クラウド/サーバー コロケーション接続	対象
		クラウド/サーバー リージョン間接続	対象
		クラウド/サーバー テナント間接続	対象
		クラウド/サーバー Enterprise Cloud 1.0接続	対象
		クラウド/サーバー SD-Exchange Amazon Web Services接続	対象
		クラウド/サーバー SD-Exchange Google Cloud Platform接続	対象
		クラウド/サーバー SD-Exchange Microsoft Azure接続	対象
		インターネット/関連サービス	Super OCN Flexible Connect
	DNS		対象
	Akamai FastDNS		対象
	Akamai Global Server Load Balance		対象
	Distributed Secure Internet GateWay		対象
	クラウド/サーバー ロードバランサー		対象
	クラウド/サーバー ネットワークセキュリティ		ファイアウォール
		Managed Firewall	対象
	Managed UTM	対象	
	Managed WAF	対象	
	リモートアクセス	Flexible Remote Access	非対象
	SD-WAN	Software-Defined Network Service	非対象
IoT	IoT Connect	IoT Connect Mobile® Type S	対象
		IoT Connect Gateway	非対象
		ローカル5G	非対象
	IoTプラットフォーム	Things Cloud®	非対象
モニタリング/監査	リソースモニタリング	クラウド/サーバー モニタリング	対象
		Cloud Management Platform	非対象
	操作ログ	クラウド/サーバー モニタリングログ	対象
サポート	無償サポート	ベーシック	非対象
	有償サポート	Professional Support Services	非対象

2-1.API仕様の変更～API秘密鍵の非表示化1/3～

■ サービス仕様の変更前（ユーザープロフィールのページにて）

API鍵 YoNZW2nvy04STyHHpzuwLkAjDuP9z4RZ [コピー](#)

API秘密鍵 **表示** → クリックでポップアップ表示

API秘密鍵 apVkXODWkBfKgm1P [コピー](#)

[API鍵を再生成](#)

閉じる

API 秘密鍵表示

ユーザー管理権限を持つユーザーやパートナー親契約ユーザーから他ユーザーの API 秘密鍵も確認可能

API 鍵の再生成

ユーザー管理権限を持つユーザーやパートナー親契約ユーザーから他ユーザーの API 鍵も再発行可能

■ サービス仕様の変更後（ユーザープロフィールのページにて）

API鍵 7kl2yjjZGWGEgG1PjXGtRI3JIaR3aCQ0 [コピー](#)

API秘密鍵 **API秘密鍵は再生成した際に一度のみ表示**

API秘密鍵の表示を削除

API秘密鍵 hVj pzA0VzIXvJH2E [コピー](#)

[API鍵を再生成](#)

閉じる

API 秘密鍵表示

ユーザー自身がAPI鍵を再生成したタイミングで一度のみ表示。他ユーザーのAPI秘密鍵は確認不可。

API 鍵の再生成

ユーザー自身のみ再生成可能。ユーザー管理権限を持つユーザーやパートナー親契約ユーザーであっても再生成不可。

2-1.API仕様の変更～API秘密鍵の非表示化2/3～

ユーザー情報取得 API のレスポンスから keystone_password (API 秘密鍵) の項目を削除します。

Method: GET

API Path: {api_endpoint}/api/v2/users/{user_id} ※v1.0 も同様

変更前

Response Body

```
{
  "login_id": "user_login_id",
  "mail_address": "youremail@ntt.com",
  "user_id": "ecid1234567890",
  "contract_owner": true,
  "super_user": true,
  "keystone_name": "XXXXXXXXXX",
  "keystone_password": "XXXXXXXXXX",
  "keystone_endpoint": "https://keystone-jp1-
ecl.api.ntt.com:443",
  ...
}
```

レスポンスから削除



変更後

Response Body

```
{
  "login_id": "user_login_id",
  "mail_address": "youremail@ntt.com",
  "user_id": "ecid1234567890",
  "contract_owner": true,
  "super_user": true,
  "keystone_name": "XXXXXXXXXX",
  "keystone_endpoint": "https://keystone-jp1-
ecl.api.ntt.com:443",
  ...
}
```

2-1.API仕様の変更～API秘密鍵の非表示化3/3～

2021年9月22日追加

ユーザ作成 API のレスポンスから keystone_password (API 秘密鍵) の項目を削除します。(パートナー様のみ対象)

Method: POST

API Path: {api_endpoint}/api/v2/users ※v1.0 も同様

変更前

Response Body

```
{
  "login_id": "user_login_id",
  "mail_address": "youremail@ntt.com",
  "user_id": "ecid1234567890",
  "contract_id": "econ1234567890",
  "keystone_name": "XXXXXXXXXX",
  "keystone_password": "XXXXXXXXXX",
  "keystone_endpoint": "https://keystone-jp1-ecl.api.ntt.com:443",
  ...
}
```

レスポンスから削除



変更後

Response Body

```
{
  "login_id": "user_login_id",
  "mail_address": "youremail@ntt.com",
  "user_id": "ecid1234567890",
  "contract_id": "econ1234567890",
  "keystone_name": "XXXXXXXXXX",
  "keystone_endpoint": "https://keystone-jp1-ecl.api.ntt.com:443",
  ...
}
```

2-1.API仕様の変更～API 鍵更新権限の変更～

API 鍵更新 API について、実行可能なユーザーをユーザー自身に制限します。

Method: PUT

API Path: {api_endpoint}/api/v2/keys/{user_id} ※v1.0 も同様

変更前

実行可能ユーザー

- ❖ ユーザー自身
- ❖ 同一契約の契約代表ユーザー
- ❖ 同一契約のユーザー管理権限をもつユーザー
- ❖ パートナー親契約のユーザー

実行可能ユーザーから削除



変更後

実行可能ユーザー

- ❖ ユーザー自身

2-2.ログイン履歴のご提供

過去 24 ヶ月以内のログインイベントを参照することが可能なログインイベント一覧 API の新設、およびユーザー情報画面でのログインイベント表示を追加します。
なお、ログインイベントについてはこの機能開放時以降のイベントのみ表示いたします。

ログインイベント一覧取得 API

指定ユーザーのログインイベント種別、タイムスタンプ、アクセス元 IP アドレスを出力する為のAPIとなります。

Method: GET

API Path: {api_endpoint}/api/v2/users/{user_id}/login-events

Response

Body

```
{
  "user_id": "ecidXXXXXXXXXX",
  "events": [
    {
      "event_type": "logout",
      "event_datetime": "2021-03-02 00:00:00",
      "client_ip_address": "XXX.XXX.XXX.XXX"
    },
    {
      "event_type": "login_success",
      "event_datetime": "2021-03-01 23:59:59",
      "client_ip_address": "XXX.XXX.XXX.XXX"
    },
    ...
  ]
}
```

ログインイベント表示

ユーザープロフィール表示画面の下部にログインイベント種別、タイムスタンプ、アクセス元 IP アドレスが出力されるようになります。

ログイン履歴		
イベント日時	イベント種別	IPアドレス
2021-05-13 10:00:18 UTC	ログアウト	1XX.XXX.XXX.1
2021-05-13 09:51:11 UTC	ログイン成功	1XX.XXX.XXX.1
2021-05-13 09:26:29 UTC	ログアウト	1XX.XXX.XXX.1
2021-05-13 09:24:17 UTC	ログイン成功	1XX.XXX.XXX.1
2021-05-13 06:37:49 UTC	ログイン成功	1XX.XXX.XXX.1
⊕ すべて見る		
← 一覧へ戻る		

なお、ログアウトは明示的にログアウトした場合のみ出力されます。
(タイムアウトによる自動ログアウトは記録されません)

2-3.ログイン時の2要素認証機能の推奨（パートナーポータルご利用者様のみ）

- ✓ 現在、パートナーさまは、パートナーポータルへのログインの際に、2要素認証を選択いただくことが可能
→ **下記手順にて2要素認証を設定頂く事でセキュリティを向上させることができる為、設定を強くお勧めいたします。**
- ✓ 2要素認証は、通常のログインIDとパスワードによる認証に加えてオプションで追加利用できる認証で、TOTP (RFC 6238 Time-Based One-Time Password Algorithm) をサポートしているモバイル端末を使用します。
- ✓ 2要素認証に利用できるスマートフォンアプリケーションはGoogle Authenticator(iPhone,Android)となります。

■パートナーポータルの2要素認証の設定手順

①管理ユーザーとしてパートナーポータルにログインします



②管理 -> 「ユーザー管理」を選択します。



③表示された画面で、二要素認証を適用するユーザーのお名前を押下し、「Enable TFA」よりそのユーザーに対して二要素認証を適用ください



<参考>

詳細な手順はSDPF Knowledge Center(<https://sdpf.ntt.com>)
をご参照ください

[コミュニティ](#) -> [パートナー](#) -> [チュートリアル](#) -> [ユーザーの新規作成と削除](#) -> [二要素認証](#)